

検定試験の第三者評価 【簡易版】 総括評価 評価結果

1. 対象検定試験 日本語検定
2. 実施運営団体 特定非営利活動法人 日本語検定委員会
3. 受審有効期間 2022年9月まで有効とする
4. 評価講評

●大項目Ⅰ 検定試験の実施主体に関する事項

検定試験の目的および受検に関する情報はHP等に明確に示されている。組織体制、事務処理体制、危機管理体制はよく整えられ、継続的・安定的に検定を実施できる体制が構築されている。財務経理情報は適切に整備され、検定試験実施団体として適正な運営がなされている。検定試験に関する情報は情報公開チェックリストに基づき適切に公表されている。個人情報保護方針を制定しPマークを取得している。検定試験の回ごとに、個人受検者等からアンケートを取得し、関係者で改善点等について討議してPDCAを回している。

●大項目Ⅱ 検定試験の実施に関する事項

検定の内容やレベルは学習指導要領にも配慮して学年・年齢層別に設定されており、HPに公開されているサンプル問題で自分のレベルを確認することができる。検定実施に関する情報はHP等で公開されている。試験問題は検定の回ごとに一貫した管理体制をとり漏洩の無いように努めている。障害のある方の受検への対応はHPに公開され、障害のある方が公平に受検できるよう配慮されている。試験運営に関するマニュアルは整っており、検定試験が適切に実施されるよう努めている。検定試験終了後に合否判定会議・問題作成委員会を開催し、試験問題各級の水準を検証して次の作問の際に反映している。

●大項目Ⅲ 検定試験の試験問題に関する事項

試験問題は問題作成委員会で作問し審議委員会の承認を得ている。合否判定は、合否判定会議を開催するなど、明確なプロセスが定められている。試験結果については問題作成委員会が分析を実施し、審議委員会で承認を得る手順が定められており、試験問題の妥当性が担保されている。

●大項目Ⅳ 継続的な学習支援・検定試験の活用促進

合格者には認定書だけでなく試験結果のカルテも発行され、継続的な学習の参考にできるよう配慮されている。HPには受検者の声や受検する人だけでなく受検後も学習の参考にできるコラムがある。受検者の声や資格保持者を優遇する企業・団体が公開されるだけでなく、日本語に親しみが持てるような様々なコンテンツが発信され、継

継続的な学習の意欲向上をはかっている。

5. 評価得点

大項目	得点率
1. 検定試験の実施主体に関する事項	100%
2. 検定試験の実施に関する事項	100%
3. 検定試験の試験問題に関する事項	100%
4. 継続的な学習支援・検定試験の活用促進	100%
合計	100%